



こもれび新聞



ひふのかゆい！赤い！カサカサ！



夏になると増えてくる皮膚のかゆみや赤み、ベタベタやカサカサなど…困った症状を起こす皮膚病について解説します。

☆犬アトピー性皮膚炎

どんな病気？

ハウスダストなど環境中のアレルゲン（抗原）に対する過剰な免疫反応によって起こります。症状はかゆみで、赤み（炎症）や脱毛を生じることもあります。1～3歳から発症し、柴犬などの犬種で発症しやすい傾向があります。

診断・治療

発症年齢、症状などから犬アトピー性皮膚炎が疑われる場合、他の似た症状の病気（感染症、食事アレルギーなど）を除外して診断します。必要に応じてアレルギー検査をおこなうこともあります。

治療は飲み薬、塗り薬、注射などのお薬や、シャンプーなどのスキンケア、皮膚用のドッグフードやサプリメントを組み合わせでおこないます。

完治は難しく、生涯に渡りアトピー体質と上手に付き合っていく必要があります。

スキンケア外来
はじまります！

くわしくはブログを
ご覧ください。



赤み

☆食物アレルギー

どんな病気？

フード、おやつなどに含まれるタンパク質が抗原となり、皮膚のかゆみや赤み、軟便などの症状があらわれます。犬の場合、犬アトピー性皮膚炎と併発していることも多いです。1歳未満からの発症が多く、症状は季節を問わず一年中あらわれます。

診断・治療

アレルギーの原因となるタンパクを除いた食事を1～2ヶ月続け、症状が良くなるかをみます。（除去食試験）必要に応じてアレルギー検査をおこなうこともあります。食事療法に加えて、スキンケアや二次感染の治療を組み合わせる場合もあります。

☆膿皮症

どんな病気？

皮膚の細菌感染により起こります。主な原因となるブドウ球菌は皮膚の常在菌で、健康な皮膚では特に問題となりませんが、何らかの原因で皮膚のバリア機能が低下すると細菌が異常増殖します。症状は赤み、かゆみ、カサカサ、脱毛などです。

診断・治療

皮膚検査で感染の徴候を見つけます。治療は抗菌薬の飲み薬、シャンプーを症状により組み合わせ使います。症状が繰り返す場合は原因となる病気（基礎疾患）を追求し治療していきます。

☆マラセチア性皮膚炎

どんな病気？

カビであるマラセチアが異常増殖し、皮膚炎を起こします。マラセチアは皮脂を好むので、皮脂の分泌が多いシーズーなどの犬種でよく見られます。

診断・治療

皮膚検査で、写真のような菌体を確認します。治療は抗真菌薬が入ったシャンプーや塗り薬、飲み薬を使います。また、基礎疾患として犬アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患があることも多く、同時に治療していくことも多くあります。皮脂の分泌が多い子はスキンケアであぶらのコントロールをしていくことも重要です。



ピーナッツ形
のものがマラ
セチアです！

※それぞれの病気は見た目や症状の様子、発症時期や皮膚検査などを組み合わせて総合的に判断します。皮膚のトラブルでお困りの場合は一度ご相談ください。



YouTube はじめました!!



なかなか見ることのできない病院での診察の様子や、おうちでもためせるわんちゃんやねこちゃんへのおやつのおげかたなどの動画を載せています

トリミングやっています!

月・火・土曜日に実施しています。

お電話 046-206-4539



KOMOREBIPETCLINIC

もしくはトリミング専用LINEにてご予約を承っております。



※公式LINEアカウント※

お知らせやお得なクーポンを配信しています♪
フード注文、トリミング予約もできます!

下記のQRコードを読み込んでいただくか、
LINEで『こもれびペットクリニック』と
検索してください。



おともだち登録
お願いします。



〒243-0410
海老名市杉久保北4-3-11

046-206-4539

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00 12:00	🐾	🐾	🐾	休	🐾	🐾	🐾
16:00 19:00	🐾	🐾	🐾	休	🐾	🐾	休

🐾 ...8:00-13:00